

令和6年度
教育に関する事務の管理及び執行状況の
点検・評価報告書



町民ウォーキング

令和7年3月
出雲崎町教育委員会

目 次

| | 頁 |
|-------------------------|----|
| はじめに | 1 |
| I 総合教育会議 | 3 |
| II 教育委員会の会議及び活動状況 | 4 |
| III 学校教育 | |
| 1 出雲崎小学校 | 7 |
| 2 出雲崎中学校 | 11 |
| 3 学校支援地域本部事業 | 15 |
| IV 社会教育事業の実施状況 | |
| 1 社会教育・公民館事業 | 19 |
| 2 図書館事業 | 26 |
| 3 社会体育事業 | 29 |
| V 学校・社会教育施設の整備充実 | 34 |
| VI 学識経験者からの総合評価 | 35 |
| VII その他 | 36 |

はじめに

1 点検評価の公表

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定により、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況等について、学識経験者を活用して、毎年教育委員会自らが点検・評価を行い、その結果を議会に提出するとともに、公表することが義務付けられている。

本報告書は、これに基づき効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たすため、令和6年度の出雲崎町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価を行った結果を報告するものである。

2 学識経験者の知見の活用

令和6年度の点検・評価に当たっては、学識経験を有するものとして、元長岡市立東中学校長の佐藤忠弘氏（長岡市・旧三島町在住）から、第6次出雲崎町総合計画における教育関係の基本計画及び町教育計画を踏まえて、本年度事業及び次年度に向けて助言・指導を得た。

3 報告書の内容から見られる評価

- (1) 柳津町教育委員との研修は、計画を試みたが日程の調整がつかずやむなく中止とした。来年度以降も委員の資質向上に向けた研修機会を設けていく。
- (2) 確かな学力向上に向けて小学校1校・中学校1校のメリットを生かすため児童・生徒主体の授業構成、見通し・振り返りを重点にしており、また発達段階に応じて学ぶ環境や習慣の基礎、基本を大切にした教育を実践している。全国学力学習状況調査の結果では、小学校の国語と算数、中学校の国語は全国平均及び県平均を下回っており、中学校数学は全国平均及び県平均と同程度となっている。今後は基礎的基本的な内容を確実に定着させるとともに、活用する力を高めていく必要がある。
- (3) 学習指導、生徒指導の教育活動の充実を図るため、教員補助員を小学校に4名、中学校に2名配置している。特に外国語及び外国語活動では、表現力、コミュニケーション力を身に付けさせるため、小3から中3までの授業に外国人英語指導員を配置している。

また、理科や数学に対する子供たちの興味、関心が薄れ、学力低下との指摘があることから、小3から小6の理科には「理科教育支援員」を配置し、教員をサポートする体制の継続を図るとともに、中学校入学後における理科教育に対する意欲、関心等の充実及び学力向上に結び付くよう取り組んでいる。
- (4) 社会教育活動では、「出雲崎総合大学」事業は、26年間継続している事業で参加者の満足度も高く喜ばれているが、今後も多彩な講座やセミナーを計画していく中で、身に付けた知識や技能を地域などで活かすよう「まなびアシスト人材バンク」への登録に努める。
- (5) 小学校児童の放課後の学びの場として、「放課後子ども教室」「放課後児童クラブ」をより安全に過ごし、多様な体験や活動を行うことができるように「放課後子ども総合プラン運営委員会」で、検証・評価を行っているが本年度は、両事業とも上手に連携がとれたことから開催しなかった。

- (6) 新型コロナウイルス感染症は5類に移行したものの、様々な感染症対策の必要性が増している。各種マニュアルを再確認し、必要に応じて見直しをしている。学校給食従事者等の感染性胃腸炎の対応についてもフローチャートを作成し明確化した。

4 今後の点検・評価にかかる重点事項について

次年度は、特に次の事柄に配慮しながら、取組んで参りたい。

- (1) 第1期 GIGA スクール構想で整備したタブレット端末の更新を行い、すべての児童生徒が一人一台の端末を有効適切に活用し、個別最適な学びを確立できるように教育行政の質的向上に努める。そのために学校現場が ICT 機器を活用した授業づくりを積極的に進めることができるような研修体制の構築を図っていく。
- (2) 令和3年度から、小学校で発達障害の通級指導教室が開設されたことに伴い、通常学級に在籍していながらも特別な支援を要する児童生徒が、町内で個々のニーズに応じた指導が受けられる体制が整備され運用されている。
- (3) 児童生徒個々の学力を確実に高めていくために、小・中連携した学習指導の取組を充実させていく。さらに「出雲崎町架け橋期のカリキュラム」の実施、評価を通して保育園・こども園と小学校の連携を密にし、小1プロブレムの解消と滑らかな接続に取り組んでいく。連携推進に向けて教育委員会が町教研活動に働きかけながら教職員の研修意欲を高めていく。
- (4) 学習面では、小・中学校の9年間で発達段階に応じた指導を進めているが、学力テスト結果からさらに家庭学習の充実、定着を図り学力向上に努めたい。
総合学習等では、良寛学習を継続して行い、児童生徒一人ひとりが学習資料をファイル化し、学習成果の継続性を図っていき、その成果を称え中学校卒業時に「良寛学習修了証書 慈愛」を授与し、「ふるさと出雲崎・郷土の誇りである良寛の心」を持ち続ける学社連携事業を着実に進めたい。
- (5) 特別な支援が必要な児童生徒が増加傾向にあることから、特別支援教育の充実を図るため、教員補助員や介助員の配置により特性に応じた指導、支援を行い、一人一人の基本的な生活習慣の定着、コミュニケーションや社会性の向上を支援していく。学校側からも人的確保が充実されており喜ばれている。
- (6) 町民が心豊かな人生をおくるため、「家庭・地域の教育力の向上」「家庭・地域・学校・行政が一体となった生涯学習の推進」「歴史・文化・芸術の振興」の3つを施策の柱として進めていく。青少年育成や成人の学習活動で教室、講座、イベントなど行政が行うものに加え、自主的な団体活動の学習機会の充実を図っていく。
- (7) 青少年の SNS に係るトラブルが増加していることから、小・中学校においてタブレット端末の正しい使い方と危険性について指導・啓発を一層進めていかなければならない。

I 総合教育会議

- (1) 新教育委員会制度により、町長が招集する「総合教育会議」を令和6年6月12日に開催し、町長と出雲崎町の教育について意見交換を行い、教育現場の現状や児童・生徒の様子について話し合いを行った。

| | | |
|-------|---------|-------|
| 出席依頼者 | 出雲崎町長 | 仙海 直樹 |
| | 教育長 | 曾根 乗知 |
| | 教育委員 | 佐藤 正志 |
| | 教育委員 | 大磯多華子 |
| | 教育委員 | 宮田よしみ |
| | 教育委員 | 松岡 聡 |
| | 教育課長 | 吉岡 育子 |
| | 管理指導主事 | 近藤 道範 |
| | 教育課主幹 | 金泉 嘉昭 |
| | 教育課課長補佐 | 高橋 聡 |

- ・意見交換の基となる教育長、管理指導主事からの説明事項

1 出雲崎町の教育の現状と課題について（教育長）

今年度の教育方針として、第3次出雲崎町生涯学習推進計画に基づき、以下の視点からの説明があった。

(1) 学校教育

- ア 学力の向上と生徒指導の充実の両立
- イ 教員補助員の充実
- ウ 英語力の向上
- エ ICTの活用
- オ いじめ、不登校対策

(2) 社会教育

- ア 自主的な団体活動の学習機会の充実
- イ オンラインを活用した学び
- ウ 活用機会の体系化、コミュニティ形成のための人材育成の充実
- エ まち塾の英検コースの設置

2 出雲崎町立小・中学校の現状と課題（管理指導主事）

学校教育現場から見た状況等の説明があった。

- (1) 学力向上の取組
- (2) 確実な危機管理体制の構築

II 教育委員会の会議及び活動状況

| (1) 定例会および臨時会の開催 (定例会 5 回、臨時会 2 回) | | |
|------------------------------------|------|--|
| 会議 | 日付 | 審議事項等 |
| 4 月定例会 | 4/24 | 奨学金の貸与 学校評議員、社会教育委員、公民館運営審議会委員、 スポーツ推進員の委嘱、図書館協議会委員、スポー ツ推進審議会委員の任命 (議案 7 件) |
| 6 月定例会 | 6/12 | 教育支援委員会規則の一部改正、指定民俗文化財の 諮問、指定有形文化財の諮問、教育費補正予算 (6 月) (議案 4 件) |
| 7 月臨時会 | 書面議決 | 令和 7 年度使用教科用図書採択 (1 件) |
| 9 月定例会 | 9/10 | 教育費補正予算 (9 月) (議案 1 件) |
| 12 月定例会 | 12/6 | スクールバス運行管理規則の一部改正、教育費補正 予算 (12 月) (議案 2 件) |
| 3 月定例会 | 3/6 | 定住促進奨学金貸与基金の設置、管理及び運営に関 する条例の制定、定住促進奨学金貸与基金の設置、 管理及び運営に関する条例施行規則の制定、子育て 支援に関する条例の一部改正、子育て支援に関する 条例施行規則の一部改正、教育委員会組織規則の一 部改正、教育委員会表彰、教育費補正予算 (3 月)、 教育費当初予算 (議案 8 件) |
| 3 月臨時会 | 3/21 | 公民館長の任命、教育委員会事務局及びその他の教 育機関の職員の人事異動、文化財の指定、独立行政 法人日本スポーツ振興センター共済掛金の徴収に 関する要綱の制定 (議案 4 件) 教職員の人事異動、教育委員会職員事務分担 |

| |
|---------------------------------|
| (2) 教育委員研修 |
| ・新潟県市町村教育委員連合会総会・研修会 (7/19 上越市) |
| ・意見交換会 (柳津町 中止) |
| ・庁内研修 5回 「4月・6月・9月・12月・3月」 |
| (3) その他の参加活動状況 |
| ・転入教職員面識会 (4月1日) |
| ・小・中学校入学式 (4月9日) |
| ・二十五歳の集い (5月3日) |
| ・小学校運動会 (5月25日) |
| ・二十歳の集い (8月16日) |
| ・中学校体育祭 (9月14日) |
| ・小学校音楽発表会 (10月19日) |
| ・中学校学習発表会 (10月19日) |
| ・生涯学習フェスティバル (11月2日・3日) |
| ・学校施設営繕視察検討会 (12月6日) |
| ・町教育委員会表彰伝達式 (3月6日) |
| ・小・中学校卒業式 (3月25日、3月4日) |

▶概要

令和6年度の教育委員会会議は、定例会を5回、臨時会を2回開催し、27件の議案を審議した。総合教育会議は児童・生徒等の生命・身体等の緊急の講ずべき課題はないために1回の開催となった。

▶成果と課題

- (1) 町長と教育委員による総合教育会議の開催より、町の教育の現況（課題）及び児童・生徒の様子について、情報共有を図り、両者の教育施策の方向性を共有し、一致して執行にあたることを確認できた。
- (2) 教育委員会を開催する際は、定例的に教育委員研修を実施することで、教育や子育て支援に関する新制度や児童生徒の現状を速やかに報告するなど教育委員と事務局の情報共有を進め、審議の活性化に努めた。

- (3) 教職員が児童・生徒の様子を把握し、何かあった時は校長のもとで初期対応をチーム学校で取り組む体制を構築していく。また「出雲崎町いじめ防止基本方針」による取組や学校と PTA、保護者などと連携しながら、「いじめを生まない、いじめを絶対見逃さない」意識を醸成していく。
- (4) 自然体験として小 4～小 6 までを対象にスキー教室を行った。また小 1～小 3 も雪遊びやスケートを通じて新潟県内に住みながら冬の体験活動の機会が少ないことから学校生活では体験できない自然環境で心身、技能を高める目的で今後も続けていく。
- (5) 教育支援相談は教育課と保健福祉課で連携して対応している。職員（保健師）による聞き取りや助言を行い、ケースによっては専門職による巡回指導やスクールカウンセラー事業での臨床心理士による相談により、児童生徒の保護者への支援を行っている。
- (6) 高校生の通学に係る保護者の経済的負担の軽減を図るため、通学定期券購入費用の助成率を 50% に引き上げた。本事業は、通学が困難で寮生活されている生徒も対象にしている。
- (7) 小・中学校に入学する児童・生徒の保護者に対し、入学祝い金の支給を入学前の 2 月に支給し、入学時における家庭の経済的負担の軽減を図っている。
- (8) 若者の定住促進を図るため、奨学金の貸与を受け大学・専門学校等に就学した学生が卒業又は退学後に当町に定住し就職された場合に返還する奨学金の一部を助成し、着実に成果を上げている。
- (9) 昨今の通学途中の犯罪や交通事故を背景に、登下校の児童・生徒の安全確保が求められており、冬期間下校時の中学生のスクールバス運行は自宅から学校までの距離を 2 km 以上に拡大し運行を行った。小学生の登下校及び中学生の登校についても、昨年同様に行い、遠距離生徒の通学の安全確保が図られている。
- (10) 町と出雲崎高校との包括協定が締結され、交流や連携を図りながら同校の持続的発展、地域貢献できる人材に結びつけるため、教育活動への人的・物的資源の活用や支援を積極的に行っていく。

Ⅲ 学校教育

1. 出雲崎小学校

令和6年度 出雲崎小学校

学校評価だより

7月の学校評価アンケートにおいては、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。下記のとおり集計結果と今後の課題・取組についてまとめましたので、お知らせいたします。学校と家庭が同じ方向で取組を進めてまいりましょう。

今後とも、全職員一丸となって教育活動に邁進していきますので、変わらぬご支援とご協力をお願いいたします。

出雲崎小学校 校長 中澤 広行

グランドデザインの評価目標（知育 85%以上、徳・体 90%以上  達している。  目標まで5%以内

↑↓：昨年度後期の結果と比較して、5ポイント以上の変容

| 児童アンケート | | | | 保護者アンケート | | | |
|--|---|--|--|---|--|--|--|
| No. | 項目 | 評価 | 比較 | No. | 項目 | 評価 | 比較 |
| | 1 学校は楽しいですか。 |  95 | | | 1 お子さんは、学校が楽しいと感じていますか。 |  94 | |
| まなびの部 | 2 授業中、進んで学習（自分で考えたり、発表したり、友だちと相談したり）できましたか。 |  91 | | 2 お子さんは、進んで学習に取り組んでいる様子が見られますか。 | 66 | | ↓ |
| | 3 授業が分かりますか。 | 92 | | 3 お子さんは、学年の学習内容を理解していると感じますか。 | 78 | | |
| | 4 ペアやグループ、学級全体に向けて、自分の考えを友達に伝えることができましたか。 |  85 | | | 4 お子さんは、学年×10分以上の家庭学習に取り組んでいますか。 | 63 | |
| | 5 毎日、学年×10分以上の家庭学習をしていますか。 | 81 | | 5 進んで読書する姿が見られましたか。（新規） | | 40 | |
| | 6 進んで読書に取り組みましたか。（新規） |  84 | | | 6 お子さんに、家庭学習に取り組むための働きかけ（励ましや宿題の確認、アドバイスなど）をしていますか。 | 83 | |
| | こころの部 | 7 友達に、優しい言葉をかけていますか。 |  96 | | | 7 お子さんに、肯定的で温かな言葉かけをしていますか。また、お子さんが乱暴な言葉遣いをしたときは指導していますか。 |  96 |
| 8 係活動や当番活動、委員会の仕事などで、周りの人の役に立てたと思いますか。 | |  90 | ↓ | 8 家庭で、お子さんに手伝いをさせたり、仕事を任せたりしていますか。 | 82 | | |
| 9 相手の目を見て、あいさつすることができましたか。 | | 84 | | 9 お子さんは、家庭や地域で、相手の目を見てあいさつをしていますか。 | 69 | | |
| 10 自分や友達が困ったことは、先生や家族、友達に相談していますか。（新規） | |  75 | | 10 お子さんの様子について、学校と情報交換ができていますか。（新規） |  88 | | |
| からだの部 | 11 休み時間や体育の時間に、進んで体を動かしましたか。 | 87 | | 11 お子さんの健康を守るためにも、寝る時刻を守るよう、声をかけ、促していますか。（新規） |  98 | | |
| | 12 体育の時間や休み時間などで、自分のめあてに向かって、練習したり努力したりしましたか。 |  86 | ↓ | | 12 学校・学年からのたより等で、学校の活動やお知らせが適切に伝わっていますか。 |  98 | |

「前期評価」欄の数値は、アンケートでの肯定的回答を百分率（%）で表しています。学校のグランドデザインで示してある目標の達成度を   で示し、矢印は昨年度後期の評価結果と比較して5ポイント以上変化があった場合に示してあります。

1 学校が楽しい、7 優しく温かな言葉づかい、11 体力・健康面など、親子でよい評価項目があります。低下している項目へは今後の取組を工夫し、また、マイナス傾向の評価をしている児童への支援・働きかけに留意していきます。

まなび の部



2年生 川で遊ぼう

1年生 初めてのパソコン



4年生 エコパーク見学

豊かな学びを創る

「学校が楽しい」「授業中、進んで学習」「授業が分かる」に関する項目で、児童の肯定的な回答が高く、学習意欲の高まりが感じられます。興味をもてる学習課題や課題解決への見通しといった学習の進め方への配慮、複数職員でのきめ細かな指導や温かな声掛け等による成果と思われまます。今後も職員の研修を積み重ね、「主体的な学習」「進んで取り組む」ことのイメージを共有し、児童に還元できるようにしていきます。

しかし、ご家庭で見られる様子からは、やや低調な部分があります。家庭学習の幅を広げられるよう、スモールステップで取り掛かりやすい工夫をしたり、内容を紹介したりすることにも力を入れていきます。ご家庭でも家庭学習の習慣化が図れるよう、今後も温かな励ましをお願いいたします。

こころ の部



あいさつ運動



5年生 チェロ体験



町より子供の考えを聞く会

豊かな感性と社会性を育む

ようやく地域の方々との直接的な関わりも増え、学習面も心の成長も充実してきています。アンケート結果からも、「優しい声掛け」が、高評価で安定的に継続されてきています。時には、少しきつい言葉遣いも見られるので、その都度指導していきます。

「周りの役に立つ」項目が低下しています。周りからの賞賛が大事です。「やって当たり前」ではなく、積極的に「ありがとう」「助かったよ」の感謝を表す機会を設けていきます。

「あいさつ」については、「いつでも、どこでも、誰にでも」を共通のテーマとして、取組の成果を可視化して、あいさつをすることを促していきます。

お子さんがよりよく成長していけるよう、ご家庭でも、大人からよい見本となるよう、今後お願いいたします。

からだ の部



縦割り班での体力テスト



運動会での競技、応援



健康・安全と体力の向上を図る

「進んで運動」「めあてに向かって練習・努力」への肯定的回答が高めです。体育の内容としては、1学期は運動会、体力テストと、行事をよい機会として、それに向けて頑張る姿が見られました。2学期以降は、めあてをもって楽しんで行われる内容がさらに増えるので、「めあてに向かって」取り組む姿がより多く見られることを期待しています。

また、ハッピーライフウィークでの取組によって、自分の生活習慣を見直す機会になったようです。取組期間後も続けていけるよう、「食と健康委員会」で結果を明示するなどして意識付けていきます。

令和6年度

出雲崎小学校

学校評価だより

後期の学校評価アンケートにつきまして、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。下記のとおり集計結果と今後の課題についてまとめましたので、お知らせいたします。

今後とも、全職員一丸となって、教育活動に邁進していきますので、変わらぬご支援とご協力をお願いいたします。

出雲崎小学校 校長 中澤 広行

グランドデザインの評価目標（知育 85%以上、徳・体 90%以上）に



達している。 ◎ 目標まで5%以内

↑↓：今年度前期の結果と比較して、5ポイント以上の変容

| 児童アンケート | | | | 保護者アンケート | | | |
|---------|---|----|----|----------|---|----|----|
| No. | 項目 | 評価 | 比較 | No. | 項目 | 評価 | 比較 |
| | 1 学校は楽しいですか。 | 95 | | 1 | お子さんは、学校が楽しいと感じていますか。 | 94 | |
| 知育 | 2 授業中、進んで学習(問題に取り組んだり、自分の考えをもったり)できましたか。 | 87 | | 2 | お子さんは、進んで学習に取り組んでいる様子が見られますか。 | 72 | ↑ |
| | 3 授業が分かりますか。 | 95 | | 3 | お子さんは、学年の学習内容を理解していると感じますか。 | 83 | ↑ |
| | 4 ペアやグループ、学級全体に向けて、自分の考えを友達に伝えることができましたか。 | 89 | | 4 | お子さんは、学年×10分以上の家庭学習に取り組んでいますか。 | 62 | |
| | 5 毎日、学年×10分以上の家庭学習をしていますか。 | 69 | ↓ | 5 | 進んで読書する姿が見られましたか。 | 40 | |
| | 6 進んで読書に取り組みましたか。 | 78 | ↓ | 6 | お子さんに、家庭学習に取り組むための働きかけ(励ましや宿題の確認、アドバイスなど)をしていますか。 | 82 | |
| | 7 友達に、優しい言葉をかけていますか。 | 97 | | 7 | お子さんに、肯定的で温かな言葉かけをしていますか。また、お子さんが乱暴な言葉遣いをしたときは指導していますか。 | 97 | |
| 徳育 | 8 係活動や当番活動、委員会の仕事などで、周りの人の役に立てたと思いますか。 | 86 | | 8 | 家庭で、お子さんに手伝いをさせたり、仕事を任せたりしていますか。 | 75 | ↓ |
| | 9 相手の目を見て、あいさつすることができましたか。 | 81 | | 9 | お子さんは、家庭や地域で、相手の目を見てあいさつをしていますか。 | 67 | |
| | 10 自分や友達が困ったことは、先生や家族、友達などに相談していますか。 | 76 | | 10 | お子さんの様子について、学校と情報交換ができていますか。 | 93 | ↑ |
| 体育 | 11 休み時間や体育の時間に、進んで体を動かしていますか。 | 83 | | 11 | お子さんの健康を守るためにも、寝る時刻を守るよう、声をかけ、促していますか。 | 95 | |
| | 12 体育の時間や休み時間などで、自分のめあてに向かって、練習したり努力したりしましたか。 | 80 | ↓ | 12 | 学校・学年からのたより等で、学校の活動やお知らせが適切に伝わっていますか。 | 95 | |

後期評価の数値は、アンケートでの肯定的回答を百分率(%)で表しています。学校のグランドデザインで示してある目標の達成度は で示し、矢印は前期の結果と比較して5ポイント以上変化があった場合に示してあります。

「学校が楽しい」「学習内容の理解」「言葉づかい」で、親子ともにより評価項目になっています。低下している項目については裏面のように取組を工夫改善し、また、マイナス傾向の評価をしている児童への支援・働きかけを行っていきます。

知育

豊かな学びを創る



授業への理解や学習理解に関する項目で、ご家庭でのお子さんの様子がよくなってきています。その一方で、児童の家庭学習や読書の項目が低下してきています。

今後もより分かる授業を目指してICTを活用するとともに、家庭学習（自主学習）を継続しその幅を広げられるよう、内容を紹介したり促したりしていきます。

ご家庭でも、家庭学習の習慣化が図れるように、励ましの声かけをどうぞよろしくお願いいたします。

徳育

豊かな感性と社会性を育む



「学校が楽しい」「優しい声掛け」の項目で、児童からも保護者の皆様からも肯定的評価が高い状況にあります。学校全体が、穏やかで温かい雰囲気があります。いじめ見逃しゼロスクールへの参加や人権強調週間の取組、日々の道徳授業によって、少しずつ感覚が磨かれ、相手を思いやる気持ちが育ってきているからだと思われまます。3学期の生活目標である、感謝の気持ちを大切にしながら、取組を強化してさらに心を育てていきます。

あいさつでは、学級ごとに持ち回りであいさつ推進の取組を行い、さわやかなあいさつが校舎に響くようになってきました。今後も取組を工夫し、あいさつすることが当たり前となるよう意識を高めていきます。家庭でも、あいさつを交わし合うようお願いいたします。

体育

健康・安全と体力の向上を図る



秋から冬へと季節が移り、積極的に体を動かさなくなったことが評価結果低下の原因の一つと考えます。体育の担当者と学級担任が連携をとり、運動意欲を高めるための働きかけや取組を一層充実させていきます。体育の時間では、めあてカードを活用して、個に応じためあてを立てる時間を十分に確保し、がんばっている過程を大事にしています。また、児童が主体的に課題解決に取り組めるように、運動委員会から運動イベント活動を企画する等して、体を動かしたいと思うような場や機会を設定していきます。

2. 出雲崎中学校

令和6年度 出雲崎中学校グランドデザイン



教育目標
豊かな心 たくましい実践

“ふるさと出雲崎”に根付く
「心耕」の精神

「心耕」の精神 ⇒ 「たくましい実践」を通して、「豊かな心」を醸成します

| | |
|--|---|
| <p>【豊かな心】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「自律の心」…自分で考え、判断し、行動する ← ○「慈愛の心」…互いに認め合い、思いやる ← ○「挑戦の心」…高い目標を掲げ、自己を磨く ← | <p>【たくましい実践】</p> <ul style="list-style-type: none"> ← 自分で考え、自分の思いを伝えよう ← 自分と仲間のために行動しよう ← あきらめず、粘り強くやり抜こう |
|--|---|

【 令和6年度の重点 『目指す生徒の姿』 】

| 【知】意欲をもって、わかるまで、できるまで学ぶ生徒 | 【徳】お互いを思いやる、心優しい生徒 | 【体】目的をもって自己に挑戦し、自ら鍛える生徒 |
|--|---|---|
| <p>【努力事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習指導要領を確実に実施するとともに、学習習慣の定着を図り、知識・技能を高める。 ○課題設定や発問を工夫し、考え、議論する場面を設定することにより、思考力・判断力・表現力を高める。 ○学ぶ意義を理解させ、学びの有用性を感じさせることにより、主体的に学習に取り組む態度を育てる。 ○ICTを活用し、学びのデータや習熟度に応じた指導・支援を充実させることにより、個別最適化された学びの実現を図る。 <p>【目指す生徒の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○より良く表現しようとする姿 <ul style="list-style-type: none"> ・授業や生徒会活動等、学校生活の中で、各自が学期毎に5回以上文章や言葉で発表する。 ・「より良い表現」を意識して発表に取り組む。 ○学びに向かう姿 <ul style="list-style-type: none"> ・チャイムと同時に授業に取り組む。 ・スモールステップで学習を積み上げながら、基礎力を身に付ける。 ・家庭学習について、毎日60分+学年×10分以上、内容を工夫して計画的に取り組む。 | <p>【努力事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○思いやりをもち、自己や他者、社会にとってより良い判断ができるよう、「考え、議論する道徳」を推進する。 ○同和教育を中心とした人権教育を推進し、人権意識の高揚を図り、差別や偏見を許さず、自他を大切に行動することができる力を育む。 ○教育活動の様々な場面で、「人とかかわる」交流の場を設定し、集団の中で自己有用感を高めるとともに、互いの良さを実感させ、思いやりの心を育てる。 <p>【目指す生徒の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自己肯定感・自己有用感 <ul style="list-style-type: none"> ・専門委員会や学級の係活動などで自分の担当の仕事に取り組む。 ・学校生活において、決められた仕事だけでなく、自分で気付いて仕事を行う。 ○豊かな人間関係 <ul style="list-style-type: none"> ・周囲と接するときに「慈愛」を意識した言動を心掛ける。 ・悩みや困ったことがあったら、家族や先生、友人に相談できる人がいる。 | <p>【努力事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分の健康や体力の向上に関心をもち、自分の生活を振り返りながら、主体的に健康を維持管理していかうとする態度を育てる。 ○基本的な生活習慣の隔離に向けて、計画的・継続的な指導を徹底する。 ○教育活動全体を通して、生徒の前向きな取組、より高い目標に向かって努力しようとする姿勢を賞讃、奨励する。 <p>【目指す生徒の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○体力の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・体育の授業や部活動、昼休み等、日常生活の中で運動やスポーツに親しみ、意欲的に取り組む。 ・新体力テストにおいて、県平均を36項目中24項目以上超える。 ○基本的な生活習慣の確立 <ul style="list-style-type: none"> ・「ハッピーライフウィーク」の取組の中で、 <ol style="list-style-type: none"> ①7時間以上の睡眠をとる。 ②メディア（勉強目的以外のタブレット使用・SNS・パソコン・ゲーム）の使用を2時間以内にする。 ③栄養バランスを考え3食とる。 |

| 地域・保護者との協働 | 出雲崎町の学校教育の基本理念 | 小学校との協働(小中一貫教育) |
|---|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○地域の組織・人材 <ul style="list-style-type: none"> ・学校支援地域本部事業 ・学校評議員会 ・地域コーディネーター ・地域おこし協力隊 ・地域の事業所、福祉施設等 ○家庭との協働 <ul style="list-style-type: none"> ○基本的な生活習慣の確立 <ul style="list-style-type: none"> ・ハッピーライフウィークでの連携 ・家庭でのメディアのルールづくり ○規範意識の確立 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭内ルールの育成 ○豊かな人間性の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、言葉遣い、身だしなみ ○学習支援 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習のみとりと支援・確認 | <ul style="list-style-type: none"> ○生きる力の基盤となる確かな学力の育成(知) <ul style="list-style-type: none"> ・知識及び技能の習得、思考力・判断力・表現力の育成、学びに向かう力・人間性の涵養 ○豊かな心、倫理観、規範意識をはぐくむ教育の推進(徳) <ul style="list-style-type: none"> ・善悪を的確に判断し、互いに認め合い協力して活動する能力の育成 ○夢と志をもち、健康でたくましい心身の育成(体) <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に挑戦する態度、最後までやり抜く強い意志と行動力を支えるたくましい心と健康な身体の育成 <div style="text-align: center;"> </div> | <ul style="list-style-type: none"> ○小中一貫教育活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・9年間を通した授業規律の徹底 ・9年間を通した家庭学習の確立 ・「わかる」を積み重ねる指導の工夫 ・課題の洗い出しと系統的な指導の充実 ・「知・徳・体」の3部門での連携 ・9年間の見通しをもった「良寛学習」 ・発達段階に応じた体験学習の設定 ・道徳教育、キャリア教育の充実 ・継続的な情報交換による生徒指導 ・積極的な交流活動 ・キャリアパスポートによる連携 ○学力の向上に向けて <ul style="list-style-type: none"> ・共に伝え合い、学び合う場の設定 ・話し合い活動の計画的な設定 ・授業のUD化の推進 ・家庭学習指導の継続と連携 |

知育

| | 評価項目 | 評価基準 | 評価 | 備考 |
|---------------|--|---|----|--|
| より良く表現しようとする姿 | 成果 より良く表現しようと努力する生徒が増加する。 | 生徒アンケートで イの項目が A：後期の結果が前期を上回る B：同程度 C：下回る | A | 肯定的評価 84%→91% |
| | 教育活動 ア 学校生活の中で学期毎に5回以上発表する。 | 生徒アンケートで A：4回以上の生徒が80%以上 B：4回以上の生徒が60%以上 C：Bに満たない | B | 授業や生徒会活動など、学校生活の中で、文章や言葉で発表する機会が月に何回くらいありましたか。 5回以上・4回・3回・2回以下 後期3回以上(毎月)→9~12(学期) 72% |
| | イ 「より良い表現」を意識して、表現することができる。 | 生徒アンケートで A：4, 3の生徒が80%以上 B：4, 3の生徒が60%以上 C：Bに満たない | A | 言葉や文章で発表するときに、より良い表現になるように意識して取り組みましたか。 4・3の評価 91% |
| | 運営活動 ア 各教科、領域を通して、発表の機会を学期毎に2回設定する。 | 教師の評価で、全教師の合計が A：4, 3の教師が100% B：4, 3の教師が80% C：Bに満たない | A | 各教科や領域を通して、発表の機会を学期毎にどのくらい設けましたか。 4：3回以上・3：2回・2：1回・1：0回 4・3の評価 100% |
| | イ 「より良く表現しようとする姿」を意識し、生徒が成果を感じられるように、表現活動を計画する。 | 教師の評価で A：4, 3の教師が80% B：4, 3の教師が60% C：Bに満たない | A | 「より良く表現しようとする姿」の5項目を意識して表現活動を支援しましたか。 4・3・2・1 4・3の評価 90% |
| 学びに向かう姿 | 成果 家庭学習や、授業に意欲的に取り組む生徒が増加する。 | 生徒アンケートで ウ②の項目が A：後期の結果が前期を上回る B：同程度 C：下回る | B | 44%→47% |
| | 教育活動 ア チャイムと同時に授業に取り組む。 | 生徒アンケートで A：4, 3の生徒が80%以上 B：4, 3の生徒が60%以上 C：Bに満たない | A | チャイムと同時に授業に取り組みましたか。 4・3・2・1 4・3の評価 98% |
| | イ スモールステップで学習を積み上げながら、基礎力を身に付ける。 | 小テスト、単元末テスト等の達成状況が A：5教科で80%以上 B：5教科で60%以上 C：Bに満たない | B | 5教科の授業担当が評価 追試等も含む 80%以上・70%以上・60%以上・60%未満 70%以上で84% |
| | ウー① 毎日60分+学年×10分以上家庭学習に取り組む。 | 生徒アンケートで A：学年目標達成者が80%以上 B：60分以上達成者が80%以上 C：Bに満たない | C | 1日平均どのくらい家庭学習をしていますか。 学年目標以上・60分以上・30分以上 ・それ以下 学習目標達成者 47% |
| | ウー② 家庭学習の内容を工夫し、計画的に取り組んでいる。 | 生徒アンケートで A：4, 3の生徒が80% B：4, 3の生徒が60% C：Bに満たない | A | 授業で学習したことが身に付くように、家庭学習の内容を自分で考えて、改善しながら取り組みましたか。 4・3・2・1 4・3評価 90% |
| 運営活動 | ア チャイムと同時に授業がスタートできるように授業を計画する。 | 教師の評価で A：4, 3の教師が100% B：4, 3の教師が80% C：Bに満たない | A | チャイムと同時に授業をスタートさせることができましたか。 4・3・2・1 4・3評価 100% |
| | イー① 各教科で、小テストや単元末テスト等を実施し、達成感を感じさせながら、基礎力を身に付けさせる。 | 教師の評価で A：4, 3の教師が100% B：4, 3の教師が80% C：Bに満たない | A | 5教科の授業の授業担当が評価 小テストや単元末テストで、達成感が感じられるように支援しましたか。 4・3・2・1 4・3評価 100% |
| | イー② 各教科で、授業と家庭学習をつなぐ学習内容を助言する。 | 教師の評価で A：4, 3の教師が100% B：4, 3の教師が80% C：Bに満たない | B | 全教科の授業担当が評価 その日の家庭学習でできることなど、授業中に積極的に助言しましたか。 4・3・2・1 4・3評価 90% |
| | ウ 家庭学習の実施状況を確認し、助言、指導を行う。 | 教師の評価で A：4, 3の教師が100% B：4, 3の教師が80% C：Bに満たない | A | 各学年部の担当が評価 家庭学習の実施状況を確認し、助言や指導を行いましたか。(具体的な取組) 4・3・2・1 4・3評価 100% |

徳育

| 徳 | 評価項目 | 評価基準 | 評価 | 備考 |
|-------------|------------|---|--|---|
| 自己肯定感・自己有用感 | 成果 | 自分がクラスや学校の活動に貢献していると実感して学校生活を送る。 Q-Uの結果を活用する。 (A.やる気のあるクラスをつくる) 「16.自分もクラスの活動に貢献していると思う」 5点満点 (C.日常の行動を振り返る) 「11.みんなのためになることを自分で見つけ実行している」 4点満点(5点換算) A: 2つの合計値が8点以上 B: 2つの合計値が6点以上8点未満 C: Bに満たない | B | 【2学期】 B (全校平均: 7.57点) (A16) 3.69点、(C11) 3.88点 1年生: 7.67点 2年生: 8.44点 3年生: 6.59点 【1学期】 B 全校平均 7.52点 (A16) 3.64点、(C11) 3.88点 1年生: 7.78点 2年生: 7.95点 3年生: 6.83点 |
| | 教育活動 | ア 専門委員会や学級の係活動などで自分の担当の仕事に取り組む。 生徒の学校生活アンケートで 「委員会活動で自分の担当の仕事に取り組みましたか」 「係活動で自分の担当の仕事に取り組みましたか」 A: 肯定的な評価割合が80%以上 B: 肯定的な評価割合が60%以上80%未満 C: Bに満たない | A | 【2学期】 A (全校平均: 99%) 1年生: 100% 2年生: 100% 3年生: 97% 【1学期】 A (全校平均: 99%) 1年生: 97% 2年生: 100% 3年生: 100% |
| | 教育活動 | イ 学校生活において、決められた仕事だけでなく、自分で気付いて仕事を行う。 生徒の学校生活アンケートで 「学校生活において、決められた仕事以外自分で気付いて仕事をしましたか」 A: 肯定的な評価割合が80%以上 B: 肯定的な評価割合が60%以上80%未満 C: Bに満たない | A | 【2学期】 A (全校平均: 89%) 1年生: 94% 2年生: 96% 3年生: 77% 【1学期】 A (全校平均: 86%) 1年生: 94% 2年生: 100% 3年生: 67% |
| | 運営活動 | ア 専門委員会や学級での取組について、他者からの評価の場を定期的に設定し、良さを認めたり、改善すべき点を指導したりする。 教師のアンケートで A: 肯定的な評価割合が80%以上 B: 肯定的な評価割合が60%以上80%未満 C: Bに満たない | A | 【2学期】 A (100%) 内訳: A29% B71% 【1学期】 A (88%) 内訳: A25% B63% |
| | 運営活動 | イ 生徒会本部や毎月の専門委員会で振り返りを行うなど、活動の意味や学校生活向上に貢献する意義について指導する。 教師のアンケートで A: 肯定的な評価割合が80%以上 B: 肯定的な評価割合が60%以上80%未満 C: Bに満たない | A | 【2学期】 A (100%) 内訳: A75% B25% 【1学期】 A (100%) 内訳: A63% B38% |
| | 豊かな人間関係づくり | 成果 | 生徒が、クラスの中にとほっとしたり明るい気分になると感じている。 Q-Uの結果を活用する。 (A.やる気のあるクラスをつくる) 「14.クラスの中にとほっとしたり明るい気分になる」 A: 平均点が4点以上 B: 平均点が3点以上4点未満 C: Bに満たない | B |
| 教育活動 | | ア 周囲と接するときに「慈愛」を意識した言動を心掛ける。 生徒の学校生活アンケートで 「あなたは、人の気持ちを考えながら話を聞き、行動するよう心掛けましたか」 「また、そう回答した理由を具体的に書いてください」 →記述で回答 A: 肯定的な評価割合が80%以上 B: 肯定的な評価割合が60%以上80%未満 C: Bに満たない | A | 【2学期】 A (全校平均: 99%) 1年生: 100% 2年生: 100% 3年生: 96% 【1学期】 A (全校平均: 95%) 1年生: 94% 2年生: 100% 3年生: 88% |
| 教育活動 | | イ 悩みや困ったことがあったら、家族や先生、友人に相談できる人がいる。 生徒の学校生活アンケートで 「悩みや困ったことがあったら、誰か相談できる人はいますか」 「いる」と回答した人に質問です。それは誰ですか。あてはまる人すべてに☑をかくてください。←『すべて』ではなく『最も』 ☐親 ☐兄弟・姉妹 ☐友人 ☐学校の先生 ☐その他() 「いない」と回答した人に質問です。相談をせずに、どのようにして解決していこうと考えていますか(または、解決しましたか)。具体的にかいてください。」 →記述で回答 A: 肯定的な評価割合が80%以上 B: 肯定的な評価割合が60%以上80%未満 C: Bに満たない | A | 【2学期】 A (全校平均: 94%) 1年生: 100% 2年生: 96% 3年生: 86% 親(33%) 弟・妹(3%) 友人(55%) 先生(2%) その他(1%) 【1学期】 A (全校平均: 87%) 1年生: 95% 2年生: 93% 3年生: 75% 親(37%) 弟・妹(6%) 友人(35%) 先生(8%) その他(1%) |
| 運営活動 | | ア <u>学級活動や生徒会活動において、「話の聞き方5原則」を意識して取り組ませていくことを通し、互いを尊重し合う人間関係作りを指導する。</u> 教師のアンケートで A: 肯定的な評価割合が80%以上 B: 肯定的な評価割合が60%以上80%未満 C: Bに満たない | B | 【2学期】 A (76%) 内訳: A13% B63% 【1学期】 A (78%) 内訳: A22% B56% |
| 運営活動 | | イ 日々の生徒の様子や変化を捉えて、生徒に進んで声かけを行う。 教師のアンケートで A: 肯定的な評価割合が80%以上 B: 肯定的な評価割合が60%以上80%未満 C: Bに満たない | A | 【2学期】 A (91%) 内訳: A64% B27% 【1学期】 A (100%) 内訳: A76% B27% |

体育

| | 評価項目 | 評価基準 | 評価 | 備考 |
|-------------|---|--|----|---|
| 成果目標 | ・2学期に実施する新体力テストで、36項目中、1学期に実施する新体力テストの県平均を24項目以上越える。(1学期は全48項目実施) ※1学期の新体力テスト：全国共通 ※2学期の新体力テスト：学校独自に実施 ※2学期は、屋内6種目のみ実施 | 2学期に行う新体力テストの結果で、36項目中、 A：24項目以上、県平均を上回る B：18項目以上、県平均を上回る C：Bに満たない。 ※ 総項目数：テスト6種目×各学年・男女6集団の合計＝36項目 | | 2学期に実施できず |
| | ・体育授業や部活動、昼休み、日常生活のなかで、運動やスポーツに親しみ、意欲的に取り組む。 | 生徒の学校生活アンケートで「体を動かすことやスポーツが好きですか」という質問に A：好きという生徒が80%以上 B：好きという生徒が70%以上 C：Bに満たない。 ※男女とも数値が上回ることをとする。 | A | 学校生活アンケートにて 3年生 とても好き・好き：82% 2年生 とても好き・好き：89% 1年生 とても好き・好き：81% |
| | ・体育授業の準備運動で、体力づくり運動を毎時間実施する。(生徒が考案した出中トレーニングも含む) | 4月～10月(水泳授業のある7月を除く)体育(準備運動)で、体力づくり運動を A：総時数の75%以上の時間で実践 B：総時数の60%以上の時間で実践 C：Bに満たない。 | A | ・ランニング ・筋力トレーニング を毎時間行う (不定期だが、プラスアルファでトレーニングを実施) |
| 基本的な生活習慣の確立 | ・ハッピーライフウィークでの基本的な生活習慣の重点3項目を守って生活できる。 | 教育活動の重点3項目の取組で A：3項目を達成する B：2項目を達成する C：Bに満たない | B | 「睡眠」「食事」はA 「メディア」がB 3項目中2項目目標達成 |
| | ・ハッピーライフウィークで ①7時間以上の睡眠をとる。 | 生徒取組カードで A：85%以上の生徒が実施 B：70%以上の生徒が実施 C：Bに満たない。 | A | <睡眠目標達成率> 6月 9月 1年生 82.1% 92.0% 2年生 75.8% 92.9% 3年生 78.9% 91.3% 全校 78.9% 92.0% |
| | ・ハッピーライフウィークで ②メディアの使用を2時間以内に作る。 ※勉強目的でのタブレット使用以外、SNS、ゲーム、パソコンを指す。 | 生徒取組カードで A：90%以上の生徒が実施 B：80%以上の生徒が実施 C：Bに満たない。 | B | <メディア達成率> 6月 9月 1年生 88.3% 82.1% 2年生 83.9% 82.7% 3年生 91.7% 81.4% 全校 88.0% 82.0% |
| | ・ハッピーライフウィークで ③栄養バランスを考えて3食をとる。 | 生徒取組カードで A：85%以上の生徒が実施 B：70%以上の生徒が実施 C：Bに満たない | A | <食事達成率> 6月 9月 1年生 99.5% 95.5% 2年生 94.4% 99.0% 3年生 92.5% 91.3% 全校 95.5% 95.3% |
| 運営活動 | ・ハッピーライフウィーク中、カードを使って個々の睡眠の評価と生活指導を行う。 | ハッピーライフウィーク中に担任、学年主任、養護教諭、栄養教諭のいずれかが A：毎回、必要な生徒に向けて必要な生活指導を行う。 B：年間1回以上、必要な生徒に向けて必要な生活指導を行う。 C：Bに満たない。 | A | 栄養教諭や養護教諭と連携をとり、事前指導を充実させた。 |

3. 学校支援地域本部事業

出雲崎中学校

出雲崎中学校 学習発表会
声でつなぐ心

令和7年3月

学校支援地域本部事業報告

活動のあゆみ

運営委員長 内藤 仁

出雲崎小・中学校では、地域との関わりを大切に、地域を学び、地域に学ぶ教育活動が展開されています。出雲崎町の歴史や文化、豊かな自然などに触れ、地域の人と関わり、体験を通して学ぶことにより、深い学びが実現し、豊かな心、地域への愛着を育むものと考えます。当事業は、子供たちにとってかけがえのない体験を支え、よりよいものとすべく、学校の教育活動を支援するものです。

このパンフレットにて、地域との関わりを通して学ぶ小・中学校の教育活動の一端をご報告いたします。地域の皆様におかれましては、今後も一層のお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

出雲崎小学校

1年 自然と友達！～大好き！出雲崎～

あさがお大きくなあれ！

春はあさがおとさつまいもを育て、夏は水遊びと泥遊びをしました。秋は落ち葉で遊び、収穫したさつまいもを堪能。冬は雪遊びで大盛り上がりでした。あさがおの種を、ありがとうの花と一緒に地域の皆さんにお届けすることができました。1年間を通して、出雲崎の豊かな自然を楽しみました。

あさがおの種をプレゼント！

出雲崎の海はきれいな！

落ち葉のシャワーだ！

2年 出雲崎のすてき見つけた！～大好き☆わたしたちの町～

親子で「梅もぎ体験」や「梅シロップ作り」を行い、地域の恵みを感じました。「町探検」では、地域にあるお店を訪問し、町で働く人の思いを知りました。「島崎川生き物調査」では、島崎川に生息する生き物をたくさん見付けました。これらの経験を通し、一人一人が出雲崎町のすてきや魅力を見つけることができました。

島崎川で見つけた！

まちたんけんで見つけた！

梅林で見つけた！

梅シロップ作り

レトロな世界をたんのう

3年 出雲崎のことを知ろう！～見つけたすてきを伝えよう～

3年生から総合タイムが始まりました。1学期に出雲崎のよさを見みつけ、周りに伝えようと考えた子供たち。出雲崎の中でも、特に「良寛さん」「お米」「紙風船」に興味をもちました。良寛記念館、5年生の稲刈り、紙風船製造所の見学などを通して、より深く出雲崎を知ることができました。また、出雲崎のよさを他の人にも伝えようとCMを作りました。CM作りを通して、改めて出雲崎の魅力に気付くことができました。

良寛記念館見学

5年生の稲刈り見学

磯野紙風船製造所見学

出雲崎町探検

4年

出雲崎の環境を調査しよう ~探して・調べて・やってみよう~

4年生は、生き物調査、水質調査、環境学習会、海ごみの調査、浄水場・浄化センター見学などを通し、実際に自分が体験したり、見聞きたりすることで、様々な環境問題について知り、どうしたら出雲崎の環境がよくなるかを考えました。関心のある環境問題ごとに分かれてグループを作り、より詳しく調べ、できることを考え、家庭や学級に呼びかけようとしています。環境問題の多くは人間の日々の活動で起きており、一人一人の心がけが大切なことに気づき、自分がまず実践することから始めたいという思いをもち、取り組んでいます。

プールの生き物調査



島崎川の水質調査



環境学習会



海のごみの調査

5年

出雲崎の食 ~わたしたちの町の魅力発見~

漁港や市場などの見学を通して、出雲崎の特産物や郷土料理などの食に関する魅力をたくさん発見しました。また、地域の方々に力を貸していただきながら、米作りに挑戦しました。私たちの町には、まだまだ知らなかった魅力がたくさんあることに気づき、「これをより多くの人に広めたい」という思いを強くしました。出雲崎の食の魅力を詰め込んだパンフレットと育てたお米を様々な施設へ届けに行き、様々な地域の方々と交流することができました。



農作物の魅力発見!



大きくな~れ なかれ星



お米で感謝を伝えよう



水産物の魅力発見!

6年

自分の将来を見つめて ~人生の先輩からお話を聞こう!~

6年生は、キャリア教育で様々な職種の方から仕事の話や人生で大切にしていることについて話をさせていただきました。「夢のきっかけは、そこら中に転がっていること」「チャレンジしてみるという気持ち」「いくつになっても、学び続ける大切さ」など、出雲崎に生きる人生の先輩方から教えていただきました。児童たちにとって、自分の将来を考えるきっかけになったと思います。



町役場観光課の仕事

~仕事は大変だけど楽しい~



地域おこし協力隊の仕事

自己紹介 ~出雲崎の魅力再発見!!~



児童クラブの仕事

~大人だって夢があつていい~



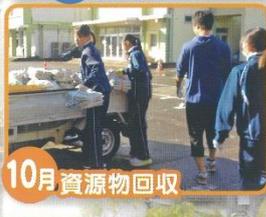
警察官の仕事

~きっかけは様々な所に~

出雲崎中学校の取組

ふるさとの方々から学ぶ

多くの方々から教育活動に参画していただき、様々な分野について学びを深めることができました。



出雲崎町の各事業所や良寛ゆかりの地を訪れ、自然、産業、文化など町の歴史や現在を学びました。

ふるさとへの愛着と誇りを育てる

良寛学習



職場体験学習



IV 社会教育事業の実施状況

1. 社会教育・公民館事業

① 青少年教育事業

| 事業名 | 事業の対象 | 実施内容 |
|-------------------|-------|---|
| 出雲崎ッズ | 小学生 | <p>実施日 8/21 (水)</p> <p>場 所 出雲崎小学校体育館</p> <p>申込数 31名</p> <p>目的及び内容 体操や鬼ごっこ、ボール遊びなどのレクリエーション的要素を取り入れた運動指導を通じて、『動く楽しさ』と『運動のためのからだの基礎』を育むことに加え、学友との夏休みの思い出作りを目的とした。</p>  |
| 出雲崎公設学習塾 「まち塾」 | 中学生 | <p>実施回数 【中学校2.3年生】 35名 火曜・水曜 18時～21時 (3時間) 土曜・日曜 13時～17時 (4時間) 夏期・冬期特別講座 13時～17時 (4時間) 4月～3月開催 155回実施</p> <p>【中学校1年生】 8名 夏期特別講座 13時～17時 (4時間) 8回実施</p> <p>【中学校1年生、小学校6年生】 19名 英検コース 隔週土曜日 13時～15時 (2時間) 4月から3月開催 20回実施</p> <p>会 場 中央公民館 講 師 教員退職者 9名配置 理 念 ・知的好奇心を高める学びの場を提供 ・自らの興味・関心分野を見つけ出す場 ・発展的な学びで出雲崎町や日本を担う人材育成 ・高等学校・大学への進学に対応する受験学力の定着</p> |

| | | |
|---|---------------------|---|
| <p>・放課後児童クラブ (放課後児童健全 育成事業)</p> | <p>小学校 1～6年</p> | <p>実施回数 通年(月～金放課後、第1・3・5土曜日、 振替休業日、長期休業期間)</p> <p>会 場 出雲崎小学校体育館内 児童クラブ室</p> <p>登 録 数 1年生：12名 2年生：11名 3年生：9名 4年生：9名 5年生：7名 6年生：1名 (3月末現在)</p> <p>目的及び内容 昼間保護者が不在となる家庭の児童の保護保育を 図るため、遊びや生活の場を提供する。</p> |
|---|---------------------|---|

| 事業名 | 事業の対象 | 実施内容 |
|------------------|---------------------|---|
| <p>・放課後子ども教室</p> | <p>小学校 1～6年</p> | <p>会 場 出雲崎小学校生活科室、中央公民館、町民体育館</p> <p>申 込 数 1年生：8名 2年生：11名 3年生：15名 4年生：15名 5年生：10名 6年生：9名</p> <p>目的及び内容 ・地域の教育力を活かし、体験や交流、学習など 多様な活動の機会の提供 ・放課後等の安心安全な居場所づくり</p> <p>(主な内容) 野球教室、えいごあそびうた教室、英語教室 伝統文化おけさ教室、運動あそび塾、音楽あそび教室、 寺子屋教室、チアリーディング教室</p> |

「野球教室」



「えいごあそびうた教室」



「英語教室」



「伝統文化おけさ教室」



「運動あそび塾」



「音楽あそび教室」



「寺子屋教室」



「チアリーディング教室」



②一般教育事業（成人期・高齢期の学習活動）

| 事業名 | 実施内容 |
|---------|---|
| 出雲崎総合大学 | <p>実施回数 全9回開催（歴史・文化・環境など幅広く実施）</p> <p>受講者数 20人（延参加者96人）</p> <p>実施内容 住民の学習意欲を促進し、健康で文化的な活力ある、生きがいのある生涯学習社会の実現を図ることを目的とした学習講座</p> <p>〈主な講座〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・良寛記念館所蔵作品説明 ・新潟県立歴史博物館出前授業 ～山古志木籠集落ふるさと会の模索～ ・出雲崎の街並を歩く ・健康教室出前講座 ～健康はおなかから・フレイル予防～ ・日本酒の歴史 <p>（講座風景）</p>   |

| 事業名 | 実施内容 |
|-----------------------------------|---|
| 公民館講座 フラワー アレンジメント教室 | 実施日 10/26(土) 秋色アレンジ 11/16(土) 冬じたく 12/21(土) クリスマスのフラワー アレンジメント 受講者数 5名 講師 明田川 綾子 氏 |
| キッズダンススクール | 実施日 1期 6/28、7/19、8/9、9/14 計4回 2期 9/27、10/25、11/1 計3回 イベント出演 8/15 船まつり ステージイベント 10/27 いずもごきマラソン 11/3 生涯学習フェスティバル 計3回 受講者数 小学生(1～6年生) 15名 講師 磯野 詩愛 氏 |
| 柔道あそび教室 | 実施日 3/2、3/16 計2回 受講者数 小学生(1～4年生) 4名 講師 河井 大介 氏 |

③芸術・文化活動

| 事業名 | 実施内容 |
|----------------------------------|--|
| 佐渡島の金山世界文化 遺産登録記念 出雲崎文化講演会 | 実施日 11月17日(日) 会場 越後出雲崎天領の里 時代館 来場者数 200人 内容 第1部 佐渡島の金山世界文化遺産登録までの道程 第2部 佐渡島の金山と良寛の生家橘屋 |
| 東京藝大生招致事業 | 参加者数 東京藝術大学 大学院生 7名 実施日 8月19日(月)～21日(水) 2泊3日 内容 街並スケッチ画を制作し、完成した作品の鑑賞会と作品を町へ寄贈 |
| 第20回良寛さん 心の書道展 | 目的 子どもたちに良寛さんの慈愛の心を継承する 対象 出雲崎小・中学生 応募数 220点 展示期間 9月14日(土)～23日(月・祝) 会場：中央公民館講堂 |

④学校・家庭・地域の連携事業

| 事業名 | 実施内容 |
|-----------------------------|---|
| 学校・家庭・地域の連携事業 (学校支援地域本部) | 学校、家庭、地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制を整えることを目的としている。 地域コーディネーターが中心となって、地域の様々なボランティア指導者や団体と協力して小・中学生を対象に活動を実施。 |

⑤その他事業

| 事業名 | 実施内容 |
|------------------|--|
| 公民館だより発行 | 毎月1回(4ページ)、公民館の活動内容などを紹介した「公民館だより」を発行し、町の全世帯に配布。町ホームページにも掲載。仕分け作業等をふれあいサポートセンターに委託している。 |
| 生涯学習 カレンダー作成 | 公民館、町、学校などの事業予定を掲載したカレンダーを作成し、町の各世帯や事業所に配布。(作成部数1,800部) |
| 生涯学習 人材バンクの推進 | 目的 “誰でも何かの先生になれる”を合言葉に、自分の知識や経験、特技を教えたい、役立てたい方を登録する人材バンクを活かし、生涯学習の推進を図る。 対象 一般町民 |
| 良寛記念館 | ○ 年2回の特別企画展 ・前期特別展『良寛ゆかりの文人展』 ギャラリートーク 5月26日(日)開催 ・後期特別展『寄贈作品公開展』 ギャラリートーク 9月28日(土)開催 ○ 松本市良寛書画展&地域交流 8月24日(土)～25日(日) ○ 冬期『常設展』 ○ 良寛記念館応援倶楽部てまりの会会員所蔵作品展示 ○ 良寛記念館つるし雛飾り ○ ギャラリー音楽会・朗読会 2回実施(7月、3月) ○ 良寛さん絵手紙コンテスト開催 6月～9月(作品募集) 9月26日(木)審査会実施 |

| 事業名 | 実施内容 |
|-----------------|---|
| 北前船日本遺産 推進事業 | <p>○町家展示施設企画展 「北前船日本遺産推進協議会 東北・新潟ブロックパネル展」 東北・新潟ブロックを構成する新潟県6市町（新潟市・長岡市・上越市・佐渡市・村上市・出雲崎町）のロールアップバナー展示と、秋田県5市（秋田市・能代市・男鹿市・由利本荘市・にかほ市）及び山形県2市（鶴岡市・酒田市）のポスター展を実施。</p>  |

⑥施設利用状況（公民館・良寛記念館）

公民館利用者数

| 令和5年度（R5.4.1～R6.3.31） | | 令和6年度（R6.4.1～R7.3.31） | |
|-----------------------|---------|-----------------------|---------|
| 海岸公民館 | 中央公民館 | 海岸公民館 | 中央公民館 |
| 1,739人 | 14,617人 | 2,115人 | 14,290人 |

良寛記念館入館者数

| 令和5年度（R5.4.1～R6.3.31） | 令和6年度（R6.4.1～R7.3.31） |
|-----------------------|-----------------------|
| 5,579人 | 5,560人 |

2 図書館事業

①図書館利用状況について（3月末日現在）

表1：分類別利用状況

| | 令和5年度 (R5.4.1～R6.3.31) | | 令和6年度 (R6.4.1～R7.3.31) | |
|--------|---------------------------|--------|---------------------------|-------|
| | 海岸公民館 | 中央公民館 | 海岸公民館 | 中央公民館 |
| 総記 | 33冊 | 7冊 | 19冊 | 7冊 |
| 哲学 | 55冊 | 22冊 | 48冊 | 28冊 |
| 歴史 | 52冊 | 15冊 | 53冊 | 12冊 |
| 社会科学 | 133冊 | 32冊 | 86冊 | 30冊 |
| 自然科学 | 105冊 | 22冊 | 114冊 | 27冊 |
| 技術 | 186冊 | 15冊 | 119冊 | 10冊 |
| 産業 | 36冊 | 5冊 | 39冊 | 6冊 |
| 芸術 | 101冊 | 14冊 | 53冊 | 21冊 |
| 言語 | 9冊 | 7冊 | 8冊 | 9冊 |
| 文学 | 1,899冊 | 740冊 | 1,827冊 | 581冊 |
| 絵本・紙芝居 | 745冊 | 129冊 | 552冊 | 219冊 |
| 雑誌 | 124冊 | 29冊 | 100冊 | 12冊 |
| 計 | 3,478冊 | 1,037冊 | 3,018冊 | 962冊 |

※ 年度別貸出冊数

| 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|--------|--------|--------|
| 5,140冊 | 4,515冊 | 3,980冊 |

表2：図書貸出年齢別貸出人数

| | 令和5年度 (R5.4.1～R6.3.31) | | 令和6年度 (R6.4.1～R7.3.31) | |
|--------------------|---------------------------|-------|---------------------------|-------|
| | 海岸公民館 | 中央公民館 | 海岸公民館 | 中央公民館 |
| 一般（23歳以上） | 1,015人 | 345人 | 951人 | 306人 |
| 学生・生徒 （13歳～22歳） | 5人 | 1人 | 23人 | 0人 |
| 児童（12歳以下） | 163人 | 30人 | 105人 | 26人 |
| 合計 | 1,183人 | 376人 | 1,079人 | 332人 |

※年度別貸出人数

| 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|--------|--------|--------|
| 1,568人 | 1,559人 | 1,411人 |

表3：貸し出し以外の図書館利用人数

| | 令和5年度 (R5.4.1~R6.3.31) | | 令和6年度 (R6.4.1~R7.3.31) | |
|--------------------|---------------------------|--------|---------------------------|--------|
| | 海岸公民館 | 中央公民館 | 海岸公民館 | 中央公民館 |
| 一般(23歳以上) | 238人 | 43人 | 266人 | 55人 |
| 学生・生徒 (13歳~22歳) | 32人 | 1,439人 | 124人 | 1,830人 |
| 児童(12歳以下) | 25人 | 7人 | 66人 | 9人 |
| 合計 | 295人 | 1,489人 | 456人 | 1,894人 |

※年度別図書館来館者総数

| 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|--------|--------|--------|
| 2,959人 | 3,343人 | 3,761人 |

表4：図書購入状況

| | 令和5年度 (R5.4.1~R6.3.31) | | 令和6年度 (R6.4.1~R7.3.31) | |
|------|---------------------------|-------|---------------------------|-------|
| | 海岸公民館 | 中央公民館 | 海岸公民館 | 中央公民館 |
| 総記 | 3冊 | 0冊 | 3冊 | 0冊 |
| 哲学 | 5冊 | 0冊 | 5冊 | 0冊 |
| 歴史 | 10冊 | 0冊 | 10冊 | 0冊 |
| 社会科学 | 16冊 | 2冊 | 29冊 | 0冊 |
| 自然科学 | 16冊 | 0冊 | 18冊 | 0冊 |
| 技術 | 21冊 | 4冊 | 21冊 | 0冊 |
| 産業 | 4冊 | 1冊 | 7冊 | 0冊 |
| 芸術 | 11冊 | 0冊 | 6冊 | 0冊 |
| 言語 | 1冊 | 1冊 | 2冊 | 0冊 |

| | 令和 5 年度 (R5.4.1~R6.3.31) | | 令和 6 年度 (R6.4.1~R7.3.31) | |
|--------|-----------------------------|-------|-----------------------------|-------|
| | 海岸公民館 | 中央公民館 | 海岸公民館 | 中央公民館 |
| 文 学 | 283 冊 | 86 冊 | 293 冊 | 68 冊 |
| 絵本・紙芝居 | 131 冊 | 26 冊 | 101 冊 | 11 冊 |
| 計 | 502 冊 | 120 冊 | 495 冊 | 79 冊 |
| (雑誌種類) | 7 種類 | 2 種類 | 7 種類 | 1 種類 |

※年度別購入冊数

| 令和 4 年度 | 令和 5 年度 | 令和 6 年度 |
|---------|---------|---------|
| 618 冊 | 622 冊 | 574 冊 |

②第 2 次出雲崎町子ども読書活動計画の推進

子どもの健やかな成長のために身近な家庭、地域、学校等はもとより、社会全体で子どもの読書活動を推進していくことがますます重要となっている。

令和 5 年度から令和 9 年度の 5 年間の計画期間とする第 2 次出雲崎町子ども読書活動推進計画に基づき活動を実施した。

③その他事業

| 事業名 | 実施内容 |
|------------|---|
| ブックスタート事業 | 1 歳 6 ヶ月になる児童に絵本 3 冊を贈呈。 |
| 除籍図書の無償配布 | 11 月 3 日の生涯学習フェスティバルにおいて除籍した図書を無償で配布。 |
| 県立図書館図書の貸出 | 県立図書館からセット図書として 100 冊単位で借り受け、町民に貸出。(年間 2 回実施) |
| 良寛さんコーナー | 今まで海岸公民館だけの設置であったが、令和 4 年度から中央公民館でもコーナーを設置。 |

3 社会体育事業

①町内大会

| 大会名 | 実施日 | 備考 今年度（昨年度） |
|--------------------|-----------|--------------------------|
| 町民登山 | 6月2日(日) | 五頭山：中止 (弥彦山：10人) |
| 第46回 町民バレーボール大会 | 6月23日(日) | 6チーム 57人 (4チーム 39人) |
| 第18回 町民ウォーキング | 10月6日(日) | 37人 (10人) |
| 第43回 町内杯ゲートボール大会 | 10月9日(水) | 5チーム 32人 (5チーム 36人) |
| 第35回 町民ソフトバレーボール大会 | 11月17日(日) | 10チーム 56人 (10チーム 54人) |
| 第9回 町民卓球大会 | 12月1日(日) | 6チーム 41人 (8チーム 52人) |
| 第38回 屋内杯ゲートボール大会 | 2月5日(水) | 5チーム 32人 (5チーム 31人) |
| 第44回 町民バドミントン大会 | 3月16日(日) | 中止 (中止) |



町民ウォーキング



町民ソフトバレーボール大会



町内杯ゲートボール大会



町民卓球大会

②体力づくり事業(実施場所:町民体育館2階トレーニング室・中央公民館2階大広間)

| 事業名 | 実施日 | 備考 今年度(昨年度) |
|---------|------------|----------------------------------|
| 気軽に体操教室 | 5月～3月 全21回 | 申込:20名 延べ218人 (申込:15名 延べ198人) |

③スポーツ教室等

| 大会名 | 実施日 | 備考 今年度(昨年度) |
|--------------------|--------------------------------|--|
| さわやかスポーツ教室 | 通年(火) 全21回 | 申込:18人 延べ:198人 (申込:15人 延べ:143人) |
| いきいき体操教室 | 5月～12月 全18回 | 申込:8人 延べ:115人 (申込:12人 延べ:132人) |
| ストレッチポール教室 | 夜:5月～10月 全20回 昼:6月～10月 全10回 | 申込:27人 延べ:306人 (申込:26人 延べ:308人) |
| テニス教室 | 5月～12月 全25回 | 申込:15人 延べ:212人 (申込:19人 延べ:217人) |
| わくわく水泳教室 | 7月29日～8月2日 全5回 | 申込:29人 延べ:125人 (申込:29人 延べ:128人) |
| リズム体操教室 | 9月～12月 全10回 | 申込:12人 延べ:78人 (申込:10人 延べ:62人) |
| トランポピクス教室 | 10月～1月 全9回 | 申込:5人 延べ:24人 (申込:8人 延べ:36人) |
| 小学生スポーツ チャレンジ教室 | バレー:6～12月 全21回 卓球:中止 | バレー 申込:11人 延べ:171人 (申込:16人 延べ:265人) 卓球 中止(中止) |
| スキー&スノーボード教室 | 2月16日(日) | 29人(29人) |



わくわく水泳教室



リズム体操教室

④体育協会主催事業

| 事業名 | 実施日 | 備考 今年度（昨年度） |
|--------------------|-----------|---|
| 姉妹都市 親善スポーツ大会 | 9月8日(日) | 会場：柳津町 59人 ソフトバレーボール・野球 (会場：出雲崎町 55人) |
| いずもぎきマラソン'24 | 10月27日(日) | 会場：出雲崎町 第2回開催 競技者：459人 (354人) |
| 第23回出雲崎町近郷ゲートボール大会 | 3月3日(月) | 60人 (58人) |

⑤スポーツ推進委員関係

| 事業名 | 実施日 | 備考 |
|--|----------------------|--------|
| 中越地区社会体育研究協議会 | 4月26日(金) | 長岡市 |
| 北陸地区スポーツ推進委員研修会 兼 第63回新潟県スポーツ推進委員大会 | 6月29日(土) ・30日(日) | 新潟県村上市 |
| 第65回全国スポーツ推進委員研究協議会 | 11月14日(木) ・15日(金) | 宮崎県宮崎市 |
| 二市三刈羽ブロック研修会 | 9月28日(土) | 出雲崎町 |
| 中越地区社会体育総合研修会 | 10月5日(土) | 弥彦村 |



姉妹都市 親善スポーツ大会



二市三刈羽ブロック研修会

⑥長岡地域定住自立圏スポーツ振興事業

・専門指導者活用事業

「身体健康プロジェクト」

- | | | | |
|----------------|--------|-----|--------------|
| ① ぽっこりお腹へこまし教室 | 6月 | 計3回 | 申込9人(のべ23人) |
| ② 目指せ美姿勢体幹教室 | 7月、9月 | 計5回 | 申込15人(のべ31人) |
| ③ 睡眠の質を高めるヨガ教室 | 8月、10月 | 計6回 | 申込21人(のべ45人) |
| ④ ダンス教室 | 11月 | 計3回 | 申込6人(のべ14人) |
| ⑤ ボクシングシェイプ教室 | 12月 | 計3回 | 申込11人(のべ20人) |

⑦スポーツマイレージ事業

町民体育館利用者にポイントを付与し、ポイントがたまると町内のお店で使える商品券と交換する事業 参加・登録者数→269名 特典達成者→189名

⑧体育施設利用状況

| | 令和5年度 (R5.4.1～R6.3.31) | 令和6年度 (R6.4.1～R7.3.31) |
|-----------|---------------------------|---------------------------|
| 町民体育館 | 21,372人 | 25,601人 |
| (トレーニング室) | (8,539人) | (9,311人) |
| 町民野球場 | 1,619人 | 2,913人 |
| 多目的運動場 | 1,592人 | 1,753人 |
| プール | 4,547人 | 3,731人 |
| 柔道場 | 31人 | 47人 |
| 屋内GB場 | 2,705人 | 2,731人 |

▶概要

青少年や一般成人等を対象とした各事業について、活動が活発化してきた。次年度以降も学習意欲の高まりや多様化に対応できるよう感染症対策を取りながら内容の一層の充実を図っていく。

▶成果と課題

- 文化教室の受講者は高齢者が主であり、定期的に出かける場となることで孤立を防ぎ、仲間づくりにつながるのので有効なものと考えている。一方、参加者の高齢化や固定化により新規参加者が少ないことや若者参加の掘り起こしを行い、今後もニーズを捉えた教室開催が望まれる。
- 第3次生涯学習推進計画により、町民の誰もがいつでも、どこでも、生涯を通して自分らしく自主的に学習することができ、楽しみや生きがいの発見などにつながるよう生涯学習を推進していく。

- 3 放課後児童クラブの運営では常に定員を超える申込みがあり、現在のクラブ室では手狭なため校舎の空き教室を活用し、支援員の増員を行い平日、長期休業に利用者のニーズにあった運営を行っている。
- 4 インターネットやスマートフォンの普及により読書離れが進んでおり、子どもたちの健やかな成長には読書を推進していくことが重要で、子ども読書活動推進計画により学校・家庭における読書推進を図らなければならない。
- 5 ネット社会の進展により、子どもたちのネットいじめ、ネット依存などメディアコントロール力を高めることが課題である。家庭内でのメディアやゲーム機の決め事を話し合っ、子どもたちの心や行動に影響しない取組を継続していかなければならない。
- 6 町のシンボルであり重要な観光拠点でもある良寛記念館の発展に寄与することを目的とした組織「良寛記念館応援倶楽部てまりの会」は、設立から4年目を迎え、入会者も予定を上回り盛会であった。次年度も引き続き充実した活動を図っていく。
- 7 伝統芸能の育成は団体に働きかけ行いながら、一方で青少年育成講座などの教室で興味を持ってもらう動機付けが必要であるので、指導できる体制づくりをめざす。
- 8 令和4年度に開塾した公設学習塾「まち塾」は、3年が経過した。さらに令和6年度からは、「英検コース」を新設し、英語力と学習意欲を高めることをねらいとし指導を行った。
- 9 町民のニーズにあったスポーツ活動の機会を町民と協働で実施していくことや現在行っている大会やイベントを一層充実していくことが重要で、そのために町民に知ってもらえるような情報発信の工夫が必要となっている。
- 10 家庭教育は自制心、自立心等を育成する大切な役割を果たすため、子どもの発達段階に応じた家庭教育に関する学習機会の提供や親が家庭教育に関して気軽に相談でき、家庭・学校・地域が連携し、地域全体で子育て家庭を支援していく体制づくりが必要である。

V 学校・社会教育施設の整備充実

| | |
|--------|---|
| ▶整備の状況 | <ol style="list-style-type: none">1 学校教育施設の主な整備状況<ul style="list-style-type: none">○ 小・中学校校舎棟照明 LED 改修工事○ 小学校特別教室棟空調改修工事 (小ホール、図工室、音楽室)○ 小学校昇降機各階出し入れ戸一式交換改修工事○ 小中学校統合型校務支援システム構築業務委託2 社会教育施設の主な整備状況<ul style="list-style-type: none">○ 中央公民館屋外ウォーキングロード設置工事○ 海岸公民館2階大会議室照明 LED 改修工事○ 海岸公民館排煙窓改修工事3 社会体育施設の主な整備状況<ul style="list-style-type: none">○ 町民プールトイレ改修工事○ 町民体育館トイレ改修工事 |
|--------|---|

▶概要

本町は学校教育施設や社会教育、社会体育施設等の整備は、計画的に進めてきており、それぞれの施設の大規模改修などの整備は概ね完了している。本年度は施設の省エネ化や利用者の利便性向上を中心とした改修などを行った。

▶成果と課題

本年度は、小中学校に令和7年度から導入する新潟県統合型校務支援システム構築業務委託を行った。本システムの導入により、教職員の負担の軽減と切れ目のない支援の実現を図っていく。

また、小・中学校の校舎棟照明 LED 改修工事を行い、省エネによる経常経費の削減及び今後の修繕費用の軽減が図られた。今後も年次計画により工事を進め更に LED 化を図っていく。

令和5年度にインターネット環境の増強を行ったため GIGA スクール4年目となった本年度は、インターネットがスムーズに繋がるようになり学習の効率化が図られた。

社会教育・体育施設では、照明 LED 改修工事やトイレ設備の改修工事を中心にを行い、利用者にとって快適と感じられる環境を整備することができた。今後も定期的に点検を実施し、施設を利用者が安心安全に利用できることに加え、利用率向上を意識した施設整備を進める。

厳しい財政状況の中、老朽化する施設の維持管理については、年次計画を立てた中で、更新・改修・整備等を図り、長寿命化などに対応していかなければならない。

VI 学識経験者からの総合評価

元長岡市立東中学校長 佐藤 忠弘

令和6年度は、「学びの楽しさ、心の豊かさで生きがいのもてるまちづくり」を基本目標とする第3次出雲崎町生涯学習推進計画の4年目にあたる。

曾根教育長は、「令和6年度教育計画」において、昨年度に引き続き「令和の生涯学習社会の実現」を標榜し、学校教育の重点を「望ましい人間関係構築からの学力向上」、社会教育の重点を「学んだことを活かすことで、さらなる学びに発展させる」と掲げ、中核となる具体的理念の明確化と共有化を図っている。

以下、学校教育と社会教育の2つの視点から、本年度の成果と今後の課題について整理したい。

学校教育においては、小・中学校ともに、「主体的、対話的で深い学び」の実現を目指し、多様な学びを実践し、きめ細かな評価を通して工夫改善を重ねていることが分かる。特に、「学ぶ楽しさ、分かる喜び」が主体的学びのエネルギーとなり、「集団における良好な人間関係の醸成」が対話的学びのベースとなることを踏まえ、そこに力点をおいた教育を推進されていることを評価結果が如実に物語っている。小学校では、昨年度同様、95%以上の児童が「学校が楽しい」「授業が分かる」と回答しており、中学校においても、「学びに向かう姿」「自己肯定感」「豊かな人間関係づくり」のいずれにおいても肯定的評価が高い。地域の物的、人的資源を活用した「学校支援地域本部事業」の活動も大変有意義に進められている。なお、家庭学習時間が、小・中学校とも目標を下回っているが、中学校でのアンケート結果でも分かるように、生徒は、家庭学習内容を自ら考え改善して取り組んでいると自覚している。一方、全国学力学習状況調査結果では、小・中学校とも十分な成果を得ていない。具体的にどのような学習内容の補強、方法の工夫が求められているのかを明らかにしていきたい。

社会教育においては、社会教育・公民館事業、社会体育事業は、活発な活動が推進されている。とりわけ、公設学習塾「まち塾」に英検コースを新設し、町をあげて英語力と学習意欲を高めようとする施策は評価できる。一方、図書館事業については、今後の工夫改善が求められる。近年のインターネットやスマートフォンの普及による情報手段の多様化により、読書離れがどの年代層においても増加している。図書館貸出冊数、貸出人数の減少、児童アンケート結果からもそのことが見て取れる。朝読書やボランティアによる読み聞かせ、放課後子ども教室での読書教室やアニメーション、ブックトーク、読書会等を企画実施するなどの手だてが求められる。また、ネット社会の普及に伴う情報モラルやメディアコントロール能力の向上が世代を問わず求められている。今後、こうした社会的要請にも応えられる事業の推進にも力を入れていただきたい。

最後に、少子高齢化が加速度的に進行し、物価高騰の中での家庭の経済的負担が増す中、通学費用の助成、奨学金返済助成、スクールバス運行区域の拡大など、最大限に教育投資を惜しまない出雲崎町の御尽力に敬服申し上げたい。

VII その他

○指導いただいた学識経験者名 (敬称略)

| 職 名 | 氏 名 | 備 考 |
|------------|-------|--------------|
| 元長岡市立東中学校長 | 佐藤 忠弘 | 長岡市在住 (旧三島町) |

○町教育委員会関係者名簿

—教育委員—

(令和7年3月31日現在)

| 職 名 | 氏 名 | 備 考 |
|-----|--------|----------|
| 教育長 | 曾根 乗知 | |
| 委員 | 佐藤 正志 | 教育長職務代理者 |
| 委員 | 大磯 多華子 | |
| 委員 | 宮田 よしみ | |
| 委員 | 松岡 聡 | |

—職員名簿—

| 職 名 | 氏 名 | 備 考 |
|----------|--------|-----|
| 教育課長 | 吉岡 育子 | |
| 管理指導主事 | 近藤 道範 | |
| 教育課主幹 | 金泉 嘉昭 | |
| 教育課課長補佐 | 高橋 聡 | |
| 社会教育係長 | 山崎 健太 | |
| 教育課主任 | 青木 建也 | |
| 教育課主事 | 細野 宏一朗 | |
| 教育課主事 | 遠藤 昌隆 | |
| 事務職員 | 竹村 しのぶ | |
| 事務職員 | 小川 真紀子 | |
| 事務職員 | 高橋 美奈 | |
| 用 務 員 | 小林 秋子 | |
| 清 掃 員 | 柴田 圭一 | |
| 運転員 | 吉田 正勝 | |
| 良寛記念館 館長 | 永寶 卓 | 学芸員 |
| 同 事務職員 | 小黒 晴美 | |
| 同 事務職員 | 大久保 淳子 | |